

JAS Information

2012年2月度 理事会報告

第5回運営会議報告

平成24年2月1日に2月理事会・第5回運営会議が理事13名、理事代理3名、それと監事2名の出席のもと、日本オーディオ協会7階会議室で行われました。

2月度理事会 議事

第1号議案「新会員の承認を求める件」

平成23年12月6日の理事会以降、平成24年1月31日までの間に申請のあった個人会員2名の方の入会が承認されました。

第5回運営会議 議事

(1) 中期事業計画検討委員会について

5年先の協会のあるべき姿を、技術・事業の観点と財政・組織の観点から検討を進める委員会が発足しその第一回目の報告が行われました。

今後検討を重ね、6月の総会で中期事業計画として提案されます。

(2) 平成23年度収支見込と平成24年度予算の方向性について

平成23年度予算の進捗状況と平成24年度予算の方向性について事務局より報告がなされました。

平成23年度は、最終的に音展は若干の黒字化が達成できましたが、DHT資格認定講座は大震災の

後、受講者が激減したため、通年では赤字となる見込みです。

ただし期中に協会内の会議室をホームシアター認定講座で使えるように改造したことにより、後半の講座は外部施設を使わないで協会内で開催できるようになりました。

平成23年度の協会の事業全体では若干の黒字化が達成できる見込みという報告がなされました。

これを受けて平成24年度の予算の方向性は、音展では収支ゼロ、DHT資格認定講座は若干の黒字化をめざし、協会創立60周年記念事業の費用を捻出しても、全体では収支ゼロを目指した予算化を行うことが報告されました。

(3) 平成23年と平成24年の音展について

平成23年音展は26,600名の来場者があり、協会主催イベントの生録会、セミナー、工作教室、音のサロン等に多くの参加者があり大変好評だったという報告がなされました。来場者分析では昨年が続いて20才代の来場者が60才代を上回る傾向が報告され、特に来場者の興味はヘッドホンやPCオーディオと言った新しいカテゴリーへの関心が高くなってきています。

平成24年度はこれらの傾向を含めて、平成24年10月に実施する方向で計画を進めることが報告され、承認されました。